

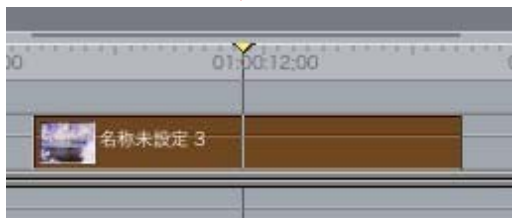
FxScript Trial

FlexPosition

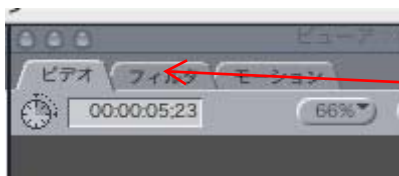
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

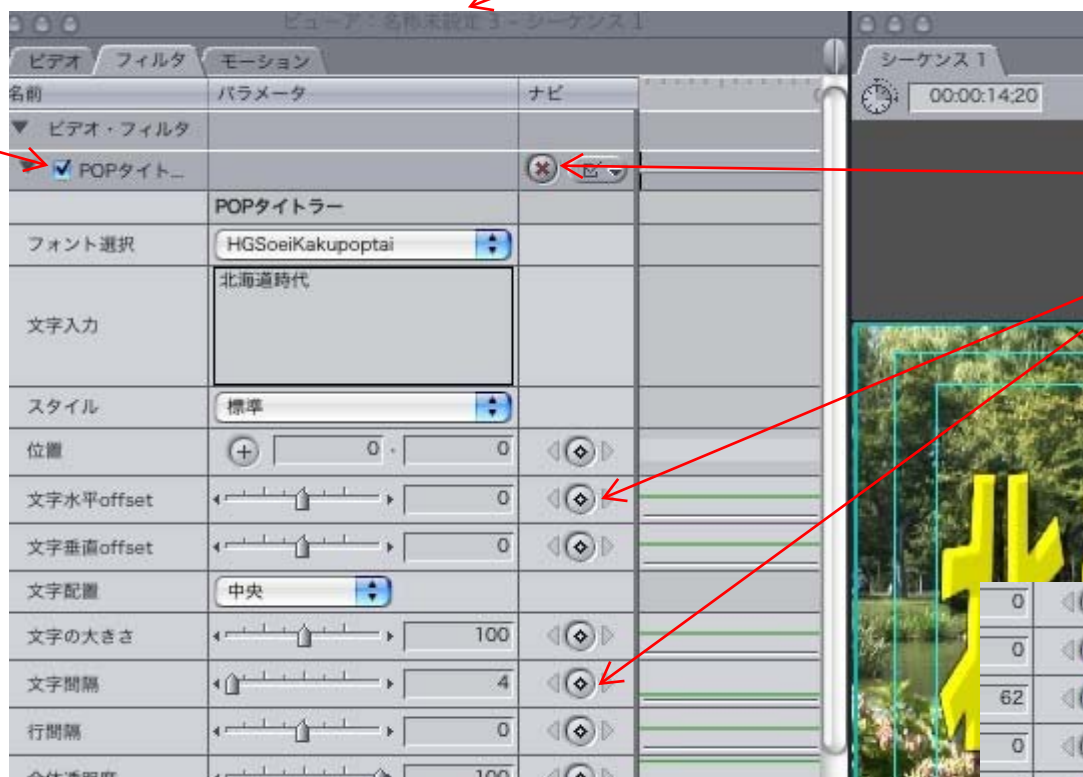


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。

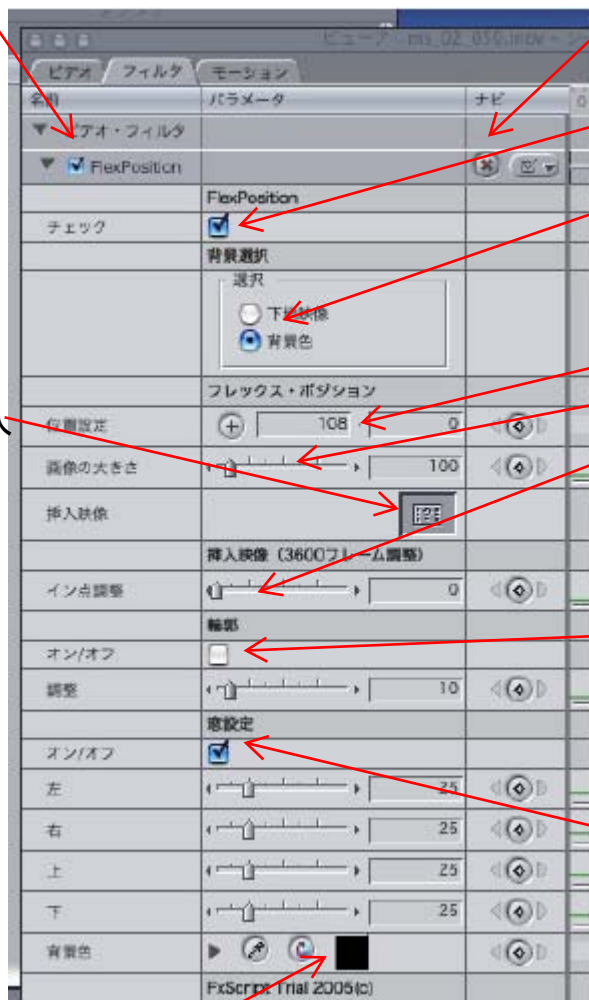


画像に設定されたプラグ

FlexPosition

ここをオフすると効果がパスされます

ナビ全体のクリアー



現状はチェック画面で何が何だかわからない状態だと思います。これは背景色、もしくは下地映像とマスクの相対的な位置を見るためにつけられています。

下地をフィルターを乗せた映像にするか下の設定にある背景色にするかの選択ボタンです。

位置設定からイン点調整までが挿入画像に関連します

位置設定で動くのは挿入画像だけです
大きさは挿入画像の大きさを設定します。
挿入画像の始まりはチャプター時の頭になります
ですから使う絵の頭があまりにも長いと
下で設定するフレーム調整のオフセット範囲を超えますので
注意が必要です。(イン調整)

画像を縮小したときボケた感じになるようでしたら
輪郭調整をおかけください

窓設定とありますが基本的には上下左右のマスクと考えて
下さい。このマスクの位置を決め込んで上部にある
挿入映像を動かしサイズを設定しチェックを外すと
黒マスクされた(あるいは下地映像より浮かんだ)効果が
あらわれます。

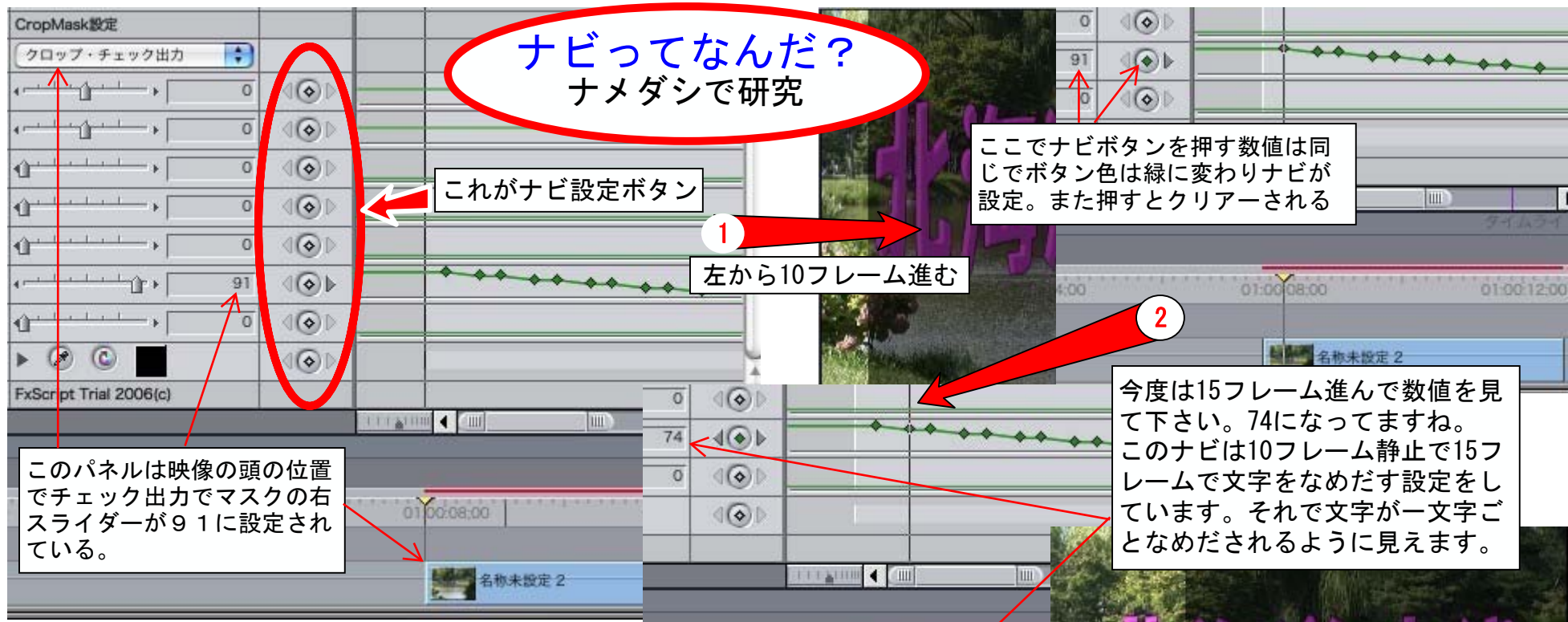
これは同じプラグを2~3回重ねて映像をつくります。
デモでお見せしている効果も3回重ねています。

クリップを掴んで挿入

背景色の設定

デモ映像クリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。